

事業報告書

平成 2 2 年度 事業 報告

事業 概要

平成 2 2 年度は、財団法人川崎市シルバー人材センター（以下「センター」という。）が、昭和 5 5 年に高齢者生きがい事業団として、川崎の地に呱呱の声をあげ、以来 3 0 年の歳月を重ね、この地に深く根を下ろし、確たる存在感を示すまでに大きく発展を遂げた記念すべき年でありました。

超高齢社会を迎えた今、一方では、長引く景気低迷による雇用環境が悪化する中で、センターは、地域社会や労働分野における重要な活動の担い手として、その果たすべき役割と期待は一段と高まっており、節目となる設立 3 0 周年を踏まえ、従来にも増して積極的な事業展開を図りました。

平成 2 2 年度の事業実績を概観すると、会員数は、4, 9 8 1 人となり、前年度の 4, 7 8 5 人に比べ 1 9 6 人（約 4 %）の増加にとどまりました。これは、年間の入会者数は 9 7 1 名に上りましたが、未就業会員に対して意向調査を実施したところ、7 7 5 人の退会者が発生した結果によるものでした。また、契約金額は、約 1 0 億 9, 9 5 0 万円となり、前年度の約 1 0 億 4, 3 8 1 万円に比べ約 5, 5 6 9 万円（約 5. 4 %）の増加を図ることができました。厳しい経済情勢にあって、民間企業、個人、公共ともに、一定の実績を伸ばすことができました。

平成 2 2 年度の主な事業の取組みとしては、1 つには、平成 2 2 年度から平成 2 6 年度までの 5 年間にわたり当センターの主要な事業指針となる第 2 次中期計画の初年度として、計画に沿った会員の増強及び就業機会の新たな創出に努めました。2 つには、自主財源の確保を図るため会員登録手数料の徴収を実施し、年間で約 9 7 万円の実績を上げました。3 つには、年度当初に市内 1 6 地区で構成する地域班を立ち上げ、地域活動のベースとなる仕組み作りに着手しました。4 つには、地域社会が求める福祉・家事援助サービス事業や地域サポート事業を積極的に推進しました。5 つには、3 0 周年を記念して、川崎市とタイアップした「市内ボランティア清掃活動」、市民と会員参加による「いきいき健康体操」及び「記念誌（飛翔）」の発行等の諸事業を実施しました。

現在、センターの運営は、国や地方自治体からの補助金削減、公共事業に係る競争入札への移行や指定管理者制度実施への対応、また、センター事業に係る適正就業の履行など、大変厳しい局面に立たされています。地域社会への大きな貢献が求められている状況を十分認識し、自立したセンターに向けて、会員、役職員一丸となって事業推進に取り組んでまいります。

1 自主・自立・共働・共助の理念の浸透

「自主・自立・共働・共助」を基本理念とし、これまで様々な就業等を通して培ってきた経験・知識・能力を有する高齢者に、地域社会に密着した多様な就業機会を提供することにより、高齢者の社会参加を促し、生きがいや健康づくりを支援するとともに、地域社会の発展に貢献することに努めました。

2 会員の増強と育成

(1) 新規会員の入会促進

新たに会員登録を希望する高齢者に対し、会員による口コミ、ホームページの掲載等を通して新規会員を募集するとともに、会員が不足している地域を中心とした地域班によるチラシの配布を実施し、重点事業である女性の入会促進を図るなど会員増強に努めました。

なお、センターへの入会動機では「生きがい・社会参加」が32.7%ともっとも高く、次いで経済的理由の順となりました。

◇会員数及び就業実績

	平成21年度	平成22年度	対前年度比 (%)
会 員 数	4,785人	4,981人	104.1
就 業 実 人 員	2,145人	2,301人	107.3
就 業 延 日 数	258,602人	273,394人	105.7
配 分 金 額	950,862千円	1,001,424千円	105.3
1人月平均就業日数	10.0日	9.9日	99.0
1人月配分金額	36,941円	36,267円	98.2
就 業 率	44.8%	46.2%	—

◇会員の状況

	平成21年度末 会員数	入会員数	退会者数	平成22年度末 会員数	対前年度比 (%)
男	3,391人	671人	563人	3,499人	103.1
女	1,394人	300人	212人	1,482人	106.3
計	4,785人	971人	775人	4,981人	104.0

◇入会動機

	生きがい、 社会参加	仲間作り	時間的余裕	健康維持・増進	経済的理由	その他	計
男	213人	19人	96人	152人	181人	10人	671人
女	105人	6人	41人	60人	85人	3人	300人
合計	318人	25人	137人	212人	266人	13人	971人
割合	32.7%	2.6%	14.1%	21.8%	27.4%	1.4%	100.0%

(2) 会員意思確認調査の実施

過去1年6ヶ月にわたり未就業であった会員に対し、引き続き会員として継続するか否かの意思を確認するための調査を、平成22年10月から平成23年3月の間で実施しました。その結果、継続者は955人、退会者は925人となりました。

◇調査概要と主な調査結果

項 目	内 容	
	第1回目	第2回目
調査票	はがき	はがき
回収率	53.8% (1,330人)	50.1% (550人)
継続者数	716人	239人
退会者数	614人	311人
備 考	第2回目の調査で退会希望者は平成23年度の4月1日付けの退会とする。	

(3) 会員登録説明会の充実

説明会の内容及び方法等の見直しを行うなかで、各事務所にプロジェクターを導入することによる説明会を実施し、新規入会会員に対して効率的かつ効果的にセンターの仕組み、事業運営方針等の周知を図ることができました。

(4) 地域班・職群班活動の実施

ア 地域班活動

地域班は、年度当初に16地区の班長及び副班長を選任し、全体連絡会議を開催するとともに、事務所連絡会議を開催するなど、連携に努めました。

また、相模原市を会員と共に視察し、課題等の整理を行いました。

◇地域班設置状況

区	設置班数	班長数(人)	地域班名
川 崎 区	3	3	川崎区北・川崎区東・川崎区西
幸 区	2	2	幸区東・幸区西
中 原 区	2	2	中原区東・中原区西
高 津 区	2	2	高津区北・高津区南
宮 前 区	2	2	宮前区北・宮前区南
多 摩 区	3	3	多摩区北・多摩区東・多摩区西
麻 生 区	2	2	麻生区北・麻生区南
合 計	16	16	

◇地域班全体連絡会議開催状況

内 容	開催日	参加人数(人)	会 場
地域班の概要説明等	7/28	16	センター多目的会議室

◇事務所連絡会議開催状況

事務所	内 容	開催日	参加人数（人）
南部	①チラシ配布作業について ②他都市シルバー人材センター視察について	10/27	8
中部	第1回 ①第1回地域班全体連絡会議の報告 ②中部事務所地域班の状況について ③中部事務所地域班活の活動について ・チラシ配布について ・親睦会について	9/17	7
	第2回 チラシ配布について	10/15	6
北部	①第1回地域班全体連絡会議の報告 ②平成22年度活動内容について ・ボランティア清掃活動 ・チラシ配布について	8/19	9

◇他都市視察状況

視察場所	内 容	開催日	視察人数
(社) 相模原市シルバー人材センター	①相模原SCの概要 ②地域班について ③質疑応答	2/28	班長7名

イ 職群班活動

職群班は、植木班及び除草班中心に自主的な組織運営を図りました。また、新たに地域サポート班会議を中部事務所において開催しました。

◇職群班活動状況

職 群	内 容	開催日	事務所
植 木	植木新人説明会	4/23	南 部
	植木グループリーダー会議	8/25	
	植木班会議	3/17	
	植木新人説明会	5/26	中 部
	植木グループリーダー会議	8/11	
	植木班長連絡会議	2/24	
	植木班会議	3/25	
	植木グループリーダー会議	1/28	北 部
植木班会議	3/18		
除 草	除草班グループリーダー会議	5/27	南 部
	除草班会議	3/17	
	除草作業希望者説明会	5/27	中 部
	除草班班長連絡会議	2/24	
	除草班会議	3/18	
	除草班会議	2/18	
地域サポート班	地域サポート班会議	11/19	中 部

(5) 各種講習会及び研修会の実施

就業に必要な基礎的な知識や技能を身に付け、会員のスキルアップを図るため講習会及び研修を実施しました。

また、地域社会への貢献の一環として、はじめて認知症サポーター養成講座を開催し、参加会員の好評を得ました。

◇講習会、研修会実施状況

講習名	開催日	内 容	参加人数(人)	会 場
○除草講習会	5/28	除草会員の育成	5	旧白山中学校
	7/21		2	旧白山中学校
	9/10		10	(社福) 春日会・特養老人ホーム等々力
	9/22		7	子ども支援センター すがお
調理講習会	9/16	調理実習・講義	20	てくのかわさき
子育て支援講習会	12/14	子どもの怪我と安全等	16	センター多目的会議室
認知症サポーター養成講座	2/24	認知症の知識等	41	川崎市福祉センター
接遇研修会	7/22	就業時のマナー習得等	22	エポック中原
	11/18		47	
○竹垣作成・植木安全作業講習会	3/25	垣根作成・安全作業講習会	21	中部事務所敷地等
○家庭内基本清掃勉強会	11/19	家庭内清掃作業の習得	20	中部事務所会議室

※○印は会員が講師を務める講習・研修会

3 就業機会の拡大・受注の開拓

(1) 新規事業の推進

ア 福祉・家事援助サービス事業の推進

今年度も、家事援助サービスのコーディネーターを各事務所に1名の計3名を配置し、福祉・家事援助サービスの受注の拡大と供給体制の整備に努めました。

発注者のニーズに応えるため、会員とのきめ細かな調整を行うとともに、相談対応や所単位での懇談会の開催等、会員への就業促進に努めました。その結果、今年度は、受注件数、延人員及び契約金額のいずれも大幅な増加となりました。

◇福祉・家事援助サービス事業実績

	平成21年度			平成22年度			
	受注件数 (件)	延人員 (人日)	契約金額 (円)	受注件数 (件)	延人員 (人日)	契約金額 (円)	対前年度比 (%)
福祉サービス 身の回りの世話・話し相手等	27	3,467	13,975,599	27	4,919	19,179,281	137.2
家事援助サービス 家庭内清掃・洗濯・料理等	221	6,827	19,459,807	387	8,601	25,157,872	129.2
子育て支援サービス 保育園の送迎等	38	2,278	5,867,277	34	3,308	10,315,344	175.8
介護予防・地域支え合サービス 市町村委託の高齢者等の生活支援事業全般	4	422	3,605,760	7	404	3,408,120	94.5
合 計	290	12,994	42,908,443	455	17,232	58,060,617	135.3

イ 地域サポート事業の推進

少子高齢化が急速に進む中、市内における高齢者一人世帯や高齢者のみの世帯が年々増加している中で、今年度から日常における困りごとを解決するサービスとして、会員（たすかめ隊）が作業し、高齢者が安心して暮らしていくための一助となっています。

◇地域サポート事業活動状況

実施事業	内容	実 績		
		受注件数	就業実人員	契約金額
地域サポート事業	<ul style="list-style-type: none"> ・浴槽の清掃 ・家具の移動 ・電球・蛍光灯の交換 ・窓ガラス拭き 	214件	65人	1,533,622円

ウ 独自事業の推進

独自事業は、会員の培った専門的技術や技能を講習会等の講師として役立て、併せて広く市民に還元していくことを目的に実施しています。

今年度についても、引き続き需要の多い「パソコン講座」を開設し、実施するとともに、会員の自主的な運営の強化を図りました。

また、今年度から新しく「かご作り教室」を開催いたしました。

◇独自事業の実施状況

教室名	内容	年間回数(回)	延参加人数(人)	会場
パソコン講座	パソコン入門	5	50	センター多目的会議室
	Word(初級)	4	24	
	Word(中級)	2	6	
	Excel(初級)	2	6	
	画像編集	3	48	
	インターネット	1	4	
	チラシ作成	1	4	
	ブログ	2	4	
	年賀状作成	4	16	
かご作り教室	荷造りテープでかごの作成	1	9	北部事務所作業所
合 計		25	171	

(2) 就業の場の拡大

役職員、就業機会創出員及び会員が一体となって新規事業受注開拓に努めました。その結果、契約金額は、公共、企業及び個人ともに増加し、対前年度比で約5.3%の伸びとなりました。職群別では、「サービス」が大幅に増加し、「折衝・外交」が減少となりました。

◇発注者別契約実績

	平成21年度			平成22年度			
	受注件数 (件)	契約金額 (円)	構成比 (%)	受注件数 (件)	契約金額 (円)	構成比 (%)	対前年度比 (%)
公 共	192	108,434,892	10.4	230	119,462,415	10.9	110.1
企 業	1,315	782,195,528	74.9	1,310	810,605,708	73.7	103.6
個 人	5,483	152,278,093	14.6	5,886	168,699,986	15.3	110.7
独自事業	45	903,110	0.1	38	738,021	0.1	81.7
合 計	7,035	1,043,811,623	100.0	7,464	1,099,506,130	100.0	105.3

◇職群別契約実績表

	平成21年度			平成22年度			
	受注件数 (件)	契約金額 (円)	構成比 (%)	受注件数 (件)	契約金額 (円)	構成比 (%)	対前年度比 (%)
技 術 各種講師・経理事務 自動車運転等	111	59,837,567	5.7	104	62,181,347	5.7	103.9
技 能 植木・大工・塗装換 障子の張替等	3,069	100,119,899	9.5	3,259	106,297,636	9.7	106.2
事 務 伝票整理・受付事務 宛名書き・筆耕等	87	26,049,586	2.5	96	25,293,771	2.3	97.1
管 理 駐輪場管理 放置自転車対策業務 施設管理・商品管理等	208	337,964,920	32.4	202	341,602,419	31.0	101.1
折衝・外交 販売・配達・配布等	86	20,381,566	2.0	75	18,430,312	1.7	90.4
軽 作 業 清掃・草取り・草刈り かごカート整理等	3,179	454,042,842	43.5	3,265	484,974,646	44.1	106.8
サービス 家事援助・子育て支援 福祉施設等での仕事等	295	45,415,243	4.4	463	60,725,999	5.5	133.7
合 計	7,035	1,043,811,623	100.0	7,464	1,099,506,130	100.0	105.3

(3) 受注開拓機能の確立

ア 会員による受注開拓

地域班の具体的な活動の一環として、センターのPR用チラシの配布を実施し、新規会員の募集と受注開拓に努めました。

◇配布活動状況

事務所	実施期間	実施地区	参加人数（人）	配布枚数（枚）
南 部	11/4～11/22	川崎・幸・中原区	9	3,600
	1/10～1/11	川崎区	2	800
中 部	10/18～10/27	高津・宮前区	11	2,400
	11/4～11/11	宮前区	3	800
	2/2～2/23	高津・宮前区	11	2,400
	3/3～3/23	高津・宮前区	5	800
北 部	10/1～10/8	多摩・麻生区	9	3,600
	3/7～3/16	多摩・麻生区	9	3,600
合 計			59	18,000

イ 就業機会創出活動

今年度も引き続き就業機会創出員を2名配置し、年間を通して計画的に市内の企業、福祉施設及び保育園等の訪問活動を行い、既存受注先の更なる受注拡大及び新規受注の開拓に取り組みました。

◇就業機会創出員活動状況

事務所	創出員数 (人)	活動日数 (日)	訪問箇所（件）		
			新規	既存	計
南 部	1	101	711	63	774
中・北部	1	104	480	127	607
計	2	205	1,191	190	1,381

(4) 広報活動の充実

ア 広報媒体を活用したPR

川崎市健康福祉局の広報紙「楽笑」（1万部発行）に地域サポート事業募集広告を掲載し、普及啓発に努めました。また、地域広報紙「タウンニュース」を活用したPR活動も行いました。

さらに、(社)全国シルバー人材センター事業協会が発行する広報誌「月刊シルバー人材センター」（全国4万部発行）の歴史文化紀行欄掲載への取材協力を行い、23年4月号・5月号の誌面を飾りました。

イ ポスターの掲出

センター事業の普及・啓発を目的に、市内540ヶ所市広報掲示板に7・10月の計2回PR用ポスターを掲出しました。

ウ インターネットの活用

講習会の開催状況や事業計画及び財務情報、会員のひろばなどのコーナーを新設するなど、ホームページを全面的にリニューアルし、タイムリーな広報活動に努めました。

エ 区民祭等地域イベントへの参加

各区で開催される区民祭や地域活動に参加し、受注開拓や会員募集等センター事業のPR活動に努めました。

【参加区】幸、宮前、麻生（計3区）

【その他】「介護予防いきいき大作戦」川崎市健康福祉局

「シルバーフェスタ」（財）川崎市老人クラブ連合会

(5) 情報の収集・提供

ア 顧客満足度調査の実施

顧客満足度調査を企業と家庭を対象に実施しました。仕事の出来ばえ、料金及び接客態度共に満足度が高い評価をいただきました。今後とも、会員のスキルアップなどを図り、顧客満足度の向上に努めていきます。

◇調査概要と主な調査結果

	企 業	家 庭
調査時期	平成23年1月6日から平成23年2月28日	
調査方法	就業機会創出員訪問活動聴取	請求書に調査用はがき同封等
調査件数	110件	300件
回収件数	106件	170件
回収率	96.3%	56.6%
主な調査結果 ()は前回(19年度)との増減	I 仕事の出来ばえ 満足+おおむね満足：87.7% (+6.5%) II 料金に対する満足度 満足+おおむね満足：98.1% (-1.0%) III 会員の接客態度 満足+おおむね満足：79.3% (-1.1%)	I 仕事の出来ばえ 満足+おおむね満足：84.0% (+1.9%) II 料金に対する満足度 満足+おおむね満足：97.2% (-1.3%) III 会員の接客態度 満足+おおむね満足：87.0% (+0.4%)

イ 会報誌の充実

会報「シルバーかわさき」は、会員編集委員の主体的な企画、取材及び編集活動による成果物として、年4回発行しておりますが、今年度もセンター事業の状況、事務所別の会員諸活動を紹介する貴重な情報誌として、全会員、各関係機関へ配布しました。特に、第40号は30周年記念特集として、座談会を掲載するとともにカラー版として発行しました。

◇会報の発行実績

内容 \ 号数	第38号	第39号	第40号	第41号
発行月	平成22年4月	平成22年7月	平成22年10月	平成23年1月
発行部数	5,500部	5,500部	6,000部	6,000部

4 安全・適正就業の徹底

(1) 安全・適正就業の推進

ア 安全・適正就業委員及び事務所安全・適正就業対策員の活用

安全・適正就業委員会及び事務所安全・適正対策会議を開催し、年度実施計画の策定、活動報告及び事故発生状況の分析等を行いました。対策員により転落による重篤事故が起きやすい植木現場を中心に巡回指導を実施し、ヘルメット、安全帯の着用及び三脚・脚立等の器材の安全性についての確認や注意喚起を行いました。

◇安全・適正就業委員会等の活動状況

事務所	内 容	開 催 日
本 部	安全・適正就業委員会	6/22、2/21
南 部	安全・適正対策会議	7/29、3/23
	安全・適正就業対策巡回指導	3/23
中 部	安全・適正対策会議	7/27、9/21、3/23
	安全・適正就業対策巡回指導	2/15、2/17、3/11
北 部	安全・適正対策会議	7/16、3/11
	安全・適正就業対策巡回指導	7/28、8/10、10/7、10/10、3/25

イ 事故発生状況

今年度も安全就業に向け、就業先への巡回指導、安全就業の啓発活動等の取り組みを行いました。前年度に比べ傷害事故は植木、除草作業中の事故をなど4件増加しており、事故防止に向けた取り組みの強化を図る必要があります。

また、賠償責任事故も2件の増加となっています。

◇ 事故発生状況（件）

項 目	平成21年度	平成22年度
会員傷害事故	15	19
賠償責任事故	9	11
合 計	24	30

ウ 安全講習会の開催

神奈川県安全防災局交通安全対策課、宮前警察署及び川崎消防署の協力を得て、就業会員を対象とした、就業途上の交通安全（自転車シュミレーターなど）や応急手当に係る講習会を開催しました。

エ 安全就業に向けた取組強化

事務所開催の班会議等で、会員の安全意識の向上を図るとともに、安全就業に関する標語を募集し、入選作品については、会報誌への掲載及びポスターの事務所への掲示を行いました。また、事故発生状況の報告や健康管理対策として会員の執筆の「私の健康法」を毎回会報誌に掲載し、啓発活動に取り組みました。

5 事業推進体制の強化

(1) 財政基盤の強化

ア 会員登録手数料の徴収

今年度から会員の登録に要する費用の負担を前提とした会員登録手数料制度を導入にし、年間で約97万円の実績を上げるなど、センターの自主・自立的な経営基盤の強化に努めました。

イ 受注額の増大

センターの財政基盤の安定化を図るため、比較的景気動向に左右されない公共事業の受注増加（前年度 38件増）に取り組みました。

また、公共事業の新たな受注の確保、拡大を図るため、従来の随意契約に加え市の「競争入札」に新規参入しました。

(2) 第2次中期計画の進行管理

今年度は、「第2次中期計画」の初年度にあたり、進捗状況を適正に管理し、計画目標値の達成に努めました。

なお、会員数は就業会員の意思確認調査に伴う退会者が発生したため、達成度が下回る結果になりました。

◇第2次中期計画達成状況

項目	目標値	実績	達成度
会員数（人）	5,200	4,981	95.8%
契約金額（円）	1,080,000,000	1,099,506,130	101.8%
受注実績（件）	7,300	7,462	102.2%
就業実人員（人）	2,600	2,301	88.5%

(3) 新公益法人制度への移行

センターでは、従来以上に地域社会から幅広い理解と協力が得られる新公益法人の移行に向け、組織・会計・事業に係る定款・規程等の整備及び機関設計等を行いました。

◇公益認定移行状況

区分	項目	平成23年1月		平成23年3月	
		評議員会	理事会	評議員会	理事会
定款・規程等	1 新定款案の承認	○	○	○	○
	2 会計規程の制定	○	○	○	○
機関設計	1 評議員選定委員会委員の選任	○	○	○	○
	2 評議員候補者の推薦	○	○	○	○

※ ○印は理事会等において、承認されたもの

(4) 会員の自主活動への支援

会員の親睦や仲間づくりの場として、会員が自主的に行う趣味などサークル活動への支援を行いました。

◇開催状況

事務所	活動サークルの名称	開催数(回)	場 所
中 部	絵画同好会	8	中部事務所会議室

6 高年齢者の就労支援

(1) 無料職業紹介事業の実施

就業を希望する高年齢者の求職活動を支援するため、ハローワークや市労働経済局と連携し、事業紹介リーフレットを常備するなど、高齢者の様々な就業ニーズに合わせた相談窓口として運用しました。

(2) 労働者派遣事業の推進

企業の要請等に応えるため、派遣元事業主である(社)神奈川県シルバー人材センター連合会(以下「神シ連」という。)と連携し、事業の推進に取り組みました。

(3) シニアワークプログラム事業(S P事業)の協力

高年齢者の雇用就労対策として、神シ連が主催するS P事業(技能講習)に協力し、高年齢者の就労を支援しました。

◇S P講習会実施状況

講習名	内 容	開催日	受講者	会 場
マンション管理業務講習会	建物・諸設備の維持管理、マンションの清掃実技等	10/19~11/16 (16日間)	35名	川崎市教育文化会館他

(4) シニア就業支援プログラム事業(S S P事業)の実施

センターの会員拡大と生きいきとした就職活動の支援を目的に、神シ連が主催するS S P事業に協力し、会員主体によるセミナーを開催しました。

◇セミナー実施状況

名 称	内 容	開催日	受講者	会 場
シルバー人材センターセミナー in 川崎	事業概要説明 体験談の発表	9/29	16名	ミューザ川崎

7 30周年記念事業の実施

(1) 市内ボランティア清掃活動

記念事業の一環として、会員相互の交流を図るとともに、地域社会に広く開かれたセンターとして、地域社会への貢献とセンターの活動をPRするため、市の統一美化運動とタイアップし、市内の主要駅にてボランティア清掃を実施しました。

◇市内ボランティア清掃活動の実施状況

実施地区	清掃場所	開催日	参加人数(人)
川崎区	川崎駅(東口)	9/26	18
幸 区	川崎駅(西口)		10
中原区	武蔵小杉駅		10
高津区	武蔵溝ノ口駅		17
麻生区	新百合ヶ丘駅	9/24	12
合 計			67

(2) いきいき健康体操

記念事業の一環として、川崎市が推進する「介護予防いきいき大作戦」に協賛し、市民、会員参加によるいきいき健康体操を開催しました。

◇いきいき健康体操実施状況

項 目	内 容	開催日	参加人数(人)	会場
いきいき健康体操	①講話 「介護予防のためにいきいきと動くコツ」 ②健康体操 「みんなで楽しく体を動かしましょう」	10/23	48	かわさき健康づくりセンター

(3) 記念誌の発行

記念事業の一環として、会員代表及び職員による編集委員会を設置し、記念誌「飛翔」を10月に発行しました。

【発行部数】 1,000部

【配布先】 理事・評議員、関係機関、各都市 等